

(別紙5)

補助事業番号 2017P-123

補助事業名 平成29年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業

補助事業者名 NPO法人全国ことばを育む会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

ことばに特別なニーズをもつ子どもたちとその家族に対して、地域社会での自立と社会参加を生涯にわたって支援するとともに、全国各地の親の会及び関係諸団体や有志との緊密な協働のもとに、ノーマライゼーション社会の実現に寄与することを目的としている。

### (2) 実施内容

#### ① インクルーシブ教育や合理的配慮の理解を進める為の研修

平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行され、教育現場においてインクルーシブ教育や合理的配慮の整備が求められる状況にある。平成29年度については、佐賀県と福島県で実施した。保護者、関係者にとって、先進地域の情報や、障害者本人が必要としている合理的配慮について学ぶ場となった。



聴覚障害のある医師から合理的配慮の具体的な事例が話された



聴覚障害のある医師から合理的配慮の具体的な事例が話された

#### ② 吃音のある子ども、親、関係者を対象としたキャンプ事業

吃音のある子が自分と同じように話しにくさを感じている仲間と、寝食を共にし活動することで、日頃感じている孤立感を払拭し、支援者のアドバイスを受けながら自己肯定感を高めていくいい機会となった。また、保護者も吃音のある我が子への接し方や、将来への不安など、講師や先輩の親から学ぶことができた。



親の関わりについて、吃音当事者の講師からレクチャー



自由時間に、気楽に講師に質問ができるのもキャンプ事業のメリット



カヌー体験をして心をリフレッシュ。親子ともども友だち作りの手助けに

### ③ 幅広い年代の子どもたちを対象とした無料相談

我が子のコミュニケーションについて、様々な不安や悩みを抱える親が少子化にも関わらず増えている。職場の多忙化、貧困家庭の増加など、社会状況の変化により、会話を楽しむ機会が減ってきていること、食生活の変化など、要因は様々考えられるが、身近な地域での相談事業の実施により、具体的な手立てがわかったことで子どもの支援につながり、また、ことばの教室の設置のニーズが高いことも実証され、地域の親の会の活動に勢いがついた。



幼児の行動観察も大事



相談内容を丁寧に聴き取る



検査結果と支援方法をその場で伝える

## 2 予想される事業実施効果

コミュニケーションに不安や悩みを持つ親子は少子化に関わらず、全国各地とも増加傾向にあり、身近に相談のできる場として全国ことばを育む会各支部の役割は大きいものがある。

インクルーシブ教育や合理的配慮の理解を進める為の研修で学んだ参加者達が地域にもどり、参加できなかった仲間と改めて学び直したり、ブロック研修会の場で報告をしたり、理解啓発の力となった。他地域での開催を願う声も多い。

同じ障がいのある子ども、親、関係者のキャンプは新たな取り組みであったが、子ども達にとっては、自己肯定感を得られたり、気を許しあえる仲間とふれあえて、友人が増えたり、また、親にとっても、忌憚なく話ができたり、相談できたりする仲間との交流ができた。

無料教育相談では、発音の改善・吃音児やその家族の支え・難聴児のきこえの補償等具体的なアドバイスを専門家が行った。

各事業実施により、「障害のある人が幸せに暮らせる社会を作る」ことに、小さなあゆみだが寄与できたと考える。

## 3 本事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

該当無し

### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

『ことば』年4回発行 NO.286～NO.289 (各5000部) (<http://b.zkotoba.jp/>)

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： NPO法人全国ことばを育む会（ゼンコクコトバヲハグクムカイ）

住所： 〒105-0012

東京都港区芝大門1-10-1 全国たばこビル6F

代表者： 理事長 吉岡 正（ヨシオカ マサシ）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 田嶋 恵美子（タジマ エミコ）

電話番号： 03—6459—0989

F A X： 03—6459—0989

E - m a i l： npo-hagukumukai5108@waltz.ocn.ne.jp

U R L： <http://b.zkotoba.jp/>